

日新
 苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
 日日新 ひび あら 日々新たに
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり
 出典 「大学」



日新地区だより 41号

やめ にっしん

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：魅力あるまちづくり日新 広報部
 福井市文京5丁目1-8日新公民館
 発行日：平成29年(2017年)3月20日

おめでとー！

福商JETS 全米千アダンス選手権大会

5連覇達成！！

「さんさんバス」の現状

「さんさんバス」は、まちづくりの推進や活性化を目的にコミュニティバスの運行を目指す交通部会が、試行運行を経て現在の本格運行を実現させたものです。

ここに至るまでには、幾多の危機的状況がありました。「さんさんバス」は、福井市の補助金と乗車賃で運行されていますが、補助金の基準となる乗客数が不足する月が続き、試行運行から本格運行への移行が危ぶまれた時期もありました。そのため、運行コースの変更や運行時間の改正、バス停の移設など乗客の利便性を高める方策をはじめ各種企画を実施し乗り越えてきました。



平成29年4月から 査定対象の年

平成27年10月に本格運行が開始されましたが、今年、乗客数などの基準を精査する見直しが行われます。その対象が29年4月からの乗客数なのです。乗客数が補助金の基準にあるかが問われるのです。

基準乗車客復活の兆し

本格運転が実現した翌28年の1月から11月までは、基準の月750人を下回る月平均600人以下で推移してきました。しかし、12月は698人、1月は675人、2月には688人と復活の兆候が見られます。これは、多彩なイベントを実施して乗車人員の増員を図って来た結果です。皆さんの協力の結果です。

「高齢化社会における地域活性化は交通網の確保」として活動している交通部会では、今後も引き続き乗客の増員を図っていくとして協力を呼び掛けています。

日新住民高齢者ファーストで…

やさしく楽しいまちづくりに！

交通部会
 部会長 山口 満

昨年12月の乗車人数は、年間最高の好成績で終了出来ましたが、1月の実績には不安がありました。昨年1月の500名を下回る極めて最悪の状況だったからです。2月、京福バスからの実績表を見て思わずガッツポーズをしていました。予算数の690名には及ばなかったものの、675名の乗車実績だったからです。満足感、充実感を味わえる数値でした。これひとえに住民の皆様の温かく強い協力の賜と感謝しています。



こうして29年の幕開けとなりましたが、実績が伸びた要因と今後の見通しについては、(イ)日帰り温泉旅行や食事会、カラオケ大会、映画鑑賞会などの企画が好評で、参加人数の増加が図れました。特に佐野温泉への人たちが非常に多くなり、昨年前半の平均11.8名から約25名と2倍になりました。要望が強いことから、隔週木曜にも開催していきます。(ロ)一般乗客数も300名強と着実に増加しています。それまでは180名から230名ぐらいでした。今年1月4日にスタートした新ダイヤの利便性が良くなったなどの意見もあり、一般乗客の増員がさらに期待できます。



入浴や屋食を終えてのリラックスした一時

(ハ)スポット対応については、ひまわり児童館、日新児童クラブ、日新小学校、花園幼稚園など協力をいただいています。又各団体等の行事の際、さんさんバスの活用に配慮もいただいています。(二)割当乗車員数750名達成の為のグループ別計画値は次の通りです。さんさん会：300名(30~40名増)、映画会：40名(5~10名増)、サポーター：50名(5~10名増)、一般乗客：350名(20~40名増)、スポット：プラスαです。合計740名プラスαとし、4月からの第二次業績査定を乗り越えられるよう、この数値に取り組んでまいります。皆様に、今までのお礼を申し上げると共に今後ともご協力をお願いする次第です。

昨年の夏、2つの学年から同窓会に招待してもらった。いずれも藤島中学校の卒業生だ。立派に成長した頼もしい姿に、四半世紀の重みを感じずにはいられなかった。

宴もたけなわ、ある卒業生(日新地区)が私に言葉をかけてくれた。当時はかなりポッチャリ系で、運動を不得意としていた生徒である。「私の人生で後にも先にもあんなに辛かったことはない。死んだほうがましだと思った!」と。保健体育教師であった私は、毎年行う陸上競技(長距離走)の授業にはこだわりを持って臨んでいた。そのこだわりとは、一人一人が前年度の記録を一定以上縮めなくてはいけないというものだ。カンカン照りの暑い日も、向かい風で息苦しい日も、給食の牛乳がまだ胃袋の中でチャポチャポしている5限目も、体育の授業はひたすら走らせた記憶している。どの生徒も逃げずによく走りぬいた。今さらながら感心する。まして、若かったあのころの私は、「もっと速く!」「もっと頑張れ!」と発破をかけるだけで、ほとんど賞賛やねぎらいの言葉をかけていない。その生徒は続けた。「あの体育があったから、人が辛いと感じることも自分は辛いと感じずに頑張れたんです。感謝しています。」と。教師冥利に尽きる。



藤島中学校全景



校訓「剛 美 真」が刻まれています

教諭、教頭、校長と立場を違えて藤島中学校に勤務させていただいている。年齢や立場とともに考え方や生徒との距離も変わってきた。しかし、ずっと変わらないのは藤島中学校を愛する心。「ふるさと藤島誇りあれ〜♪」、「ふるさと藤島栄えあれ〜♪」、可能性を秘めた全校生徒400人とともに今日も声高らかに校歌を歌っている。

地域の皆様、今後とも温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

公民館 4人態勢で業務

日新公民館に2人の主事さんが新しく採用されました。藤井総子さんと二川友香さんのお2人です。これは、先の主事さん2人の退職に伴うもので、すでに今年1月から仕



藤井 総子 おひつじ産です。

大学で美学を専攻し
美術館・博物館へ
行く事が大好きで
心加ネっしよす。

家はせせがれ地の実物家の
作品と観る事です...

事。今年1月から仕

事に就いてい
ます。



二川 友香です
みずがめ座のO型
本を読むのが好きなので
最近読んでいる本が
★なりたい動物は★
ねこです

28年度活動報告
広報部長 勝木 文彦
今年度も地区だより「ゆめにつしん」38号と41号を発行しました。制作には、今まで通り、「見やすさ」「読みやすさ」「多彩な情報」「見てもらう」「目にしてもらう」を心がけました。さらに、40号記念号では、「公民館まつりを彩った人たち」と題して、参加団体の写真を掲載しました。枚数は50枚を超え、「親しみやすさ」も加味できたのではないかと思います。
また、電力自由化についての講演会も開催しました。電力会社から講師をお招きし、自由化の仕組みなど実務を交えながら解説して貰いました。日新婦人会との共催事業で、お茶を飲みながらの和やかな講演会となりました。約45人の方が参加されました。
皆さんのご協力の賜と感謝しています。ありがとうございます。

日新さんさんバス情報

29年度の会員募集中!です
会員になりますと、11枚綴り千円のパス回数券が、700円になります。ただし、会員登録代として千円掛かります。入会手続きや回数券の事など、さんさんバスについてお聞きになりたい事がありましたら、日新公民館までお問い合わせ下さい。

☎ 0776-21-7225



これなに?



ゴミ箱です。現在ではほとんど見受けられませんが、昔はこうしたゴミ箱に家庭のゴミを集めておきました。ほとんどの家では、軒下に置かれていました。



年配の方々には懐かしいモノですよネ

八ツ島や堀ノ宮の用水路に見られる洗い場です。現在は使われていませんが、昔は、水田や畑で汚れた農具を洗う場所だったとお聞きしました。

まちづくり事務局次長 野村 知恵子

今年度の“まちづくり日新”合同館外研修は、11月13日(日)に愛知県半田市亀崎地区において、当地区より36名が参加して実施されました。

まちづくりの先進地として福井市担当者より紹介を受け、“まちづくり全体”を学習することとしました。この亀崎地区では、「NPO法人亀崎まちおこしの会」の方々が中心となり、“街かどサロンかめとも”を拠点として活動しています。昔は漁業をはじめ、酒造業も伝統産業として栄えていましたが、徐々に衰退して今では古い街並みだけが残っています。

“亀崎まちおこしの会”は、亀崎に現存する歴史、文化を守り、次世代へつなぐことを継続して、みんなが元気で住みたいまちを目指して活動をしています。



まちおこしの拠点“街かどサロンかめとも”



古民家を利用したカフェ

地区内には沢山の坂があり、公募による名前の立札が作られていました。現在は国の補助事業を利用し空き家を商店や学生の下宿に活用する取組みを進めています。又、子どもを巻き込む活動にも関わり地域全体の参加も促していることなど、地域性は違っても当地区と相通ずる点がありました。

益々高齢化が進みますが、今回の亀崎地区の研修で共有した想いを、今後のまちづくりに活かして「住みよいまち」を作っていきましょう。



三年生が地図作成

日新小学校の3年生51人が、総合学習の授業の一環として、日新地区の魅力をもとめた地図を作成しました。高さ88cm、横105cmの大きなもので、2階廊下に吊られています。

これは、日新公民館のいきいきライフセミナー発行(平成25年度作成)の地図を手に、そのメンバーと共に訪れた地区の名所や旧跡を、自分達の力でまとめたものです。地図の上で作ってあるフォルダーにはその場所の解説書が入っていて、取り出して見る事ができます。とても良いアイデアで、誰もがわかりやすい親切な地図になっています。

環境部会

29年度の活動に向けて

環境部会 副会長 前川 栄寛

28年度も間もなく終わろうとしています。環境部会の取り組みも3月末の定例清掃を残すのみとなりました。

この1年、地区の皆様のご理解と献身的なご尽力をいただきながら、底喰川並びに公民館周辺を中心とした美化と住みよいまちづくりを精力的にすすめて参りました。心より感謝申し上げます。

29年度の部会活動は、概ね前年度踏襲で進めることになると思います。その主なものは、地区の美化維持はもとより環境に関する学習会で、自然の大切さを、また「捨てる前にもう一度」を念頭に体験を通した意識の高揚などをめざして活動したと思います。

一方で、こうした取り組みも10有余年を経過した今日ややもすると前年度踏襲という事でマンネリ化しており、事業の取り組みを優先するがため総花的になってきていることも否めません。このことから、この辺りで“魅力あるまちづくり日新”部会活動の原点にたった検討が必要かと考えます。29年度に結論がでないかも知れませんが、各方面の意見をお聴きし検討を重ねたいと思います。特に事業の整理とともに他の組織と事業内容が重ならないようにすることが必要ではないかと思います。皆様のご意見を是非お聞かせ下さい。

当地区の美化等の取り組みは、決して他の地区に勝るとも劣るものではありません。皆でより住みやすいまちをつくらうではありませんか。

環境部会は、29年度もさらに美しい地区にするため歩んでいきます。皆様のご支援、ご協力をお願いします。



左岸堤防に咲き誇る皇帝ダリア (平成28年11月27日撮影)

斜視とは

◇眼球の動きを制御する筋肉や神経の障害により、目の位置に異常をきたす疾病です。

高齢者の場合

◇徐々に目の位置がずれ、二重に見える複視をきたします。白内障などによる極度の視力低下でも生じ、この場合は視力の回復により元に戻ります。

乳幼児の場合

◇複視は稀ですが、放置すると立体視が得られず、重症例では視力の発達も阻害されます。

診断

◇特殊なレンズを使い、眼の位置のずれの大きさを測定します。必要であれば、複視、立体視、視力の検査を行い、美容的な面も含め方針を決定していきます。

治療

◇斜視用の眼鏡（プリズムレンズ）を装用し、経過を見ます。本人の見え方も改善しますが、美容的にも目の位置のずれが目立たなくなります。

◇眼鏡による矯正が不能になってくると、希望により手術を考慮していきます。筋肉が眼球に付着する位置を前後させることにより、眼球の位置を調整します。

まとめ

斜視は、基本的に治療は可能なのですが、重症例の場合、視力の発達が阻害されたまま成長すると、眼鏡をかけても物が見えなくなってしまう弱視をきたします。高齢者でも、腫瘍や炎症、動脈瘤などによる特殊なものがありますので、そういったものは早期発見が必要となります。

わかまち自治会 乾徳第3自治会

自治会 会長 上野 敏弘

私たちが住んでいる乾徳第3町内会は、芦原街道の西側に位置しています。周りには、町内ではありませんがコンビニや飲食店、スーパー、えちぜん鉄道の駅などがあり、とても立地の良い場所です。年配の方々には近くのスーパーに歩いて行けるので、「すごく助かる」とおっしゃっています。えちぜん鉄道も、通勤・通学、福井駅前へ行くときなどに利用し、学生や車の運転をされない方にはとっても便利です。

また、わかまちには「お金仏様」という小さな御堂があります。由来は、江戸時代より現在に至り、老舗の和菓子屋さんが先祖への感謝と供養で建立し、一説には夜道は人通りが少なくよく狐に化かされる所だったので通行人を守ってあげるといふ意味も込められ、その後狐は現れなくなったということです。今でも、4月8日の仏様の誕生日には御堂の扉が開き、お像に甘茶をかけ、お祝いと感謝の行事が続いています。甘茶は、ペットボトルなどの容器を持って行けばいただくことができます。



お金仏様の金仏堂

そんなわかまち内ですが、ここ数年少子化が進んでおり、かつて十数人いた子ども達も



芦原街道から福商方面を望む 手前が乾徳3

文化部

28年度の底喰川ウオークについて

文化部長 山崎 豊

「公民館まつり」前日祭の10月15日(土)に開催されましたが、この日は、朝から快晴のすばらしい天気にもぐまれ、会場つくり皆さん精を出していました。また、旧公民館ではそば作りが急ピッチで進められていました。



今年から、後片付けの時間を考え、底喰川ウオークの出発時間を今まで

200人弱の底喰川ウオーク

より1時間繰り上げて、午後2時よりはじめることにしました。最初30分ほどは福大支援学校の演技があり、それからウオークが出発して約50分で全員帰りついて、抽選会とそばの食事会をしました。大体200人弱の参加を頂き、そばも無くなりました。例年好評で鼻も高い感じですが、そして、後片付けも日が暮れないうちに終わって大成功だったと思います。

次年度もこの時間帯で実行したいと思います。

成長して地域を離れ、今ではほんの数人になり遊ぶ姿や声が消えています。これから先、他の町内と協力し、若い年代の人たちが活躍できる場を設け、この町内の活性化につながっていくと良いかなと思います。